

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：先端産業課
 担当名：総務・企画担当
 内線：3736

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B20	A I 活用による産業の高度化支援事業		一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	平成29年度～平成32年度	根拠法令				宣言項目	08 稼ぐ力の向上	
						分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進	
1 事業概要 県内中小企業のA I 導入やA I 関連の人材育成を促し産業の高度化を図るための取組を支援する。 (1) A I を活用した工場内故障診断システム開発事業 備品購入の契約差金等により生じた減額 △3,252千円			5 事業説明 (1) 事業内容 第4次産業革命と呼ばれる新たな産業構造の変革が起きており、特にA I (人工知能) を活用することで、今後の製造業における生産効率性が飛躍的に向上する可能性がある。 一方で、県内製造業の産業構造がこの変化に対応できないと競争力の低下を招く恐れがあり、対策は急務である。 このため、県内中小企業のA I 導入やA I 関連の人材育成を促し、産業の高度化を図るための取組を支援する。 (2) 事業計画 ア A I を活用した工場内故障診断システム開発事業 工場内機械部品の劣化状況診断にA I を活用し、異常個所の探索や故障予測を図るためのシステムを開発する。 イ A I を活用した医療機器等開発・実証事業 A I、I o T 活用が期待される医療分野におけるA I 等活用機器・システムの開発や実証を支援し、企業参入の促進を図る。 ウ A I、I o T 活用を目指す若手技術者育成事業 A I、I o T を活用してあらゆる産業をリードする優秀な企業技術者を育成、輩出する。 (3) 事業効果 A I の導入や人材育成は高度な知識と技術を要し、中小企業が自社の力で対応することは困難であるが、県が支援することにより県内企業のA I 導入が促され、「稼ぐ力」の向上を図ることができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 A I に関する知識や技術を持つ県職員による技術指導のほか、大学等の研究機関と連携することにより、より効果的な事業の実施を進める。 (5) 補正予算の概要 ア A I を活用した工場内故障診断システム開発事業：備品購入の契約差金等により生じた減額					
2 事業主体及び負担区分 県・(公財) 埼玉県産業振興公社 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,252	繰入金					0	111,288
現計額	114,540						0	